



一番多くの「読みたい」を集めろ 大人の知的書評バトル

BIBLIO BATTLE for ADULT

-大人のビブリオバトル-

高校生以上を対象とした知的書評合戦「大人のビブリオバトル」を開催します。

今年は、発表者と観覧者、全員がひとつの会場に集まって開催します。

現在、発表者・観覧者を募集中です。本好きな皆さんで、今年の「大人のビブリオバトル」を盛りあげましょう。



開催日： 令和5年3月3日（金）18時30分から20時

場 所： 沼津市立図書館4階 視聴覚ホール

参加者募集中

	発表者	観覧者
対 象	自分のおすすめの本をぜひみんなに知ってほしいと思っている15歳以上(中学生を除く)の人	読書・図書館が好きな人
定 員	5人(先着順)	150人(先着順)
申込方法	電話(055-952-1234)で	インターネット(→)または電話で
参加特典	大会当日(3月3日(金))から4月2日(日)までの間、市立図書館本館での貸出冊数の上限を20冊とします。	新しい素敵な本との出会いの機会がある…かも？
優勝特典	優勝が決定した後(3月4日(土))から6月29日(木)までの間、市立図書館本館での貸出冊数を無制限とします。	



ビブリオバトルってなあに？

ビブリオバトルは、誰でも開催できる本の紹介コミュニケーションゲームです。

「人を通して本を知る。本を通して人を知る」をキャッチコピーに全国に広がり、小中高校、大学、一般企業の研修・勉強会、図書館、書店、サークル、カフェ、家族の団楽などで、広く活用されています！



ビブリオバトル公式ルール

- ① 発表参加者(発表者)が面白いと思った本を持って集まる。
- ② 順番に1人5分間で本を紹介する。
- ③ それぞれの発表の後に、参加者全員(発表者・観覧者)でその発表に関するディスカッションを2～3分間行う。
- ④ 全ての発表が終了した後に、「どの本が一番読みたくなったか？」を基準とした投票を参加者全員が1人1票で行い、最多票を集めた本をチャンプ本とする。

(知的書評合戦ビブリオバトル公式サイト より)



沼津市立第一小学校

沼津市八幡町 65-1



校歌

作詞 橋爪 健
作曲 三井常三郎

一
朝に仰ぐ富士の嶺
夕に望む 駿河湾
明治の御代の 元より
ここに開きし 学び舎の
尊き歴史 受けつぎて
いそしむ幸を 懐うかな

二
世の荒波は たけくとも
我が友いざや 手をとりて
久遠の真理 求めつつ
清く正しく 健やかに
心をみがき 身をきたえ
学びの道に はげみなん

沿革 明治 2 年(1869)1 月 8 日に開校した、日本最初の近代的小学校「沼津兵学校附属小学校」を源とします。明治 6 年江原素六らの尽力により集成舎として生まれ変わりました。明治 11 年明強舎と統合されて小学沼津学校(沼津^{ぬまつこう})となりました。明治 13 年に集成舎・明強舎・三枚橋舎の 3 校に分かれましたが、明治 19 年に統合して沼津尋常小学校となりました。その後は沼津尋常高等小学校、沼津第一尋常小学校、昭和 16 年沼津市第一国民学校など変遷しながら、昭和 22 年、沼津市立第一小学校となりました。



三枚橋城・沼津城

戦国時代、駿河における武田氏の拠点の一つが、三枚橋城です。1614 年三枚橋城は廃城となりますが、1777 年水野忠友が城地を拝領し、三枚橋城跡に沼津城を築きました。美しい眺めから観潮城ともいわれました。



沼津城復元模型



沼津市立第二小学校

沼津市常磐町 2-32

沿革 明治 6 年(1873)9 月に学制に基づき設立された明強舎を源とします。当初の学区は本町・上土・三枚橋でした。明治 9 年に三枚橋分教場が設置されました。明治 10 年に明強舎が火災で焼失し、翌年集成舎と合併しました。明治 13 年に集成舎・明強舎・三枚橋舎の 3 校に分かれましたが、明治 19 年に統合して沼津尋常小学校となりました。明治 34 年、沼津尋常高等小学校が男女別に分かれ、女子部が町立女子沼津尋常高等小学校となりました。昭和 3 年(1928)女子尋常高等小学校が第二尋常小学校となり、昭和 5 年に現校地に移転しました。昭和 16 年沼津市第二国民学校、昭和 22 年沼津市立第二小学校となりました。昭和 45 年言語治療教室が設置されました。



校歌

作詞 久保田 宵一
作曲 佐々木 すぐる

一
松のみどりのききところ
はろばろ広うなばらの
すがたはやがてわが心
いざ いざ いざ いざ
いざや修めんひとすじに
明けゆく光ここにあり

二
雪にあらしにおおしくも
かがやきたる富士ヶ嶺の
すがたはやがてわが体
いざ いざ いざ いざ
いざやきたえんひとすじに
明けゆく光ここにあり



増誉上人の像
千本松原の恩人

妙覚寺 井上靖文学碑

井上靖が沼津中学校時代に寄宿していました。



勝田香月記念碑

沼津市出身の詩人





沼津市立第三小学校

沼津市下香貫下障子 3157-2

沿革 明治6年(1873)7月下香貫村に集貫舎、9月我入道村に道成舎、翌年5月上香貫村に繹成舎が設立されました。明治19年に3校が合併して尋常楊原小学校となり、翌年楊原尋常小学校と改称、明治38年に楊原尋常高等小学校となりました。大正12年(1923)沼津市との合併により沼津市立になり、昭和3年(1928)沼津第三尋常小学校となりました。昭和14年に現校地に移転。昭和16年第三国民学校、昭和22年沼津市立第三小学校となりました。

校歌	作詞 青山於兔
作曲 大石進一	
二	一
岩根を洗う 狩野川の 清き流れに 向いては あした夕べに 知を磨き 遠き真理を 想うかな	みどりいろこぎ 香貫山 山したかげに 地をしめて いらかそびゆる 学びやは これぞわれらの 誇りなる

風に鳴る碑



芹沢光治良

我入道で生まれ、沼津中学を卒業しました。日本ペンクラブ会長など務めました。代表作に「巴里に死す」「人間の運命」などがあります。



御用邸記念公園



沼津市立千本小学校

沼津市千本 1910-1

沿革 戦時中の昭和19年(1944)4月、沼津市第二国民学校から分立して第六国民学校として創設されました。当時は校舎がなく、第二国民学校や千本浜の林間学校、当時の都立片浜養護学園や地域の公会堂などで授業を行っていたそうです。昭和20年に現校地に校舎の建設が開始されましたが空襲のため延期され、戦後の昭和21年9月に完成しました。昭和22年沼津市立第六小学校となり、昭和32年4月に千本小学校に改称されました。昭和26年に市内ではじめて校区祭が行われました。



若山牧水旧居跡

牧水は千本松原の景観に魅せられ、沼津に移住し、大正14年(1925)千本の地に移り住みました。

妙傳寺

三枚橋城主大久保忠佐ゆかりの寺。



六代松の碑

千本松原は平家物語の舞台にもなっています。平維盛の遺児六代ゆかりの大きな松があったといわれています。

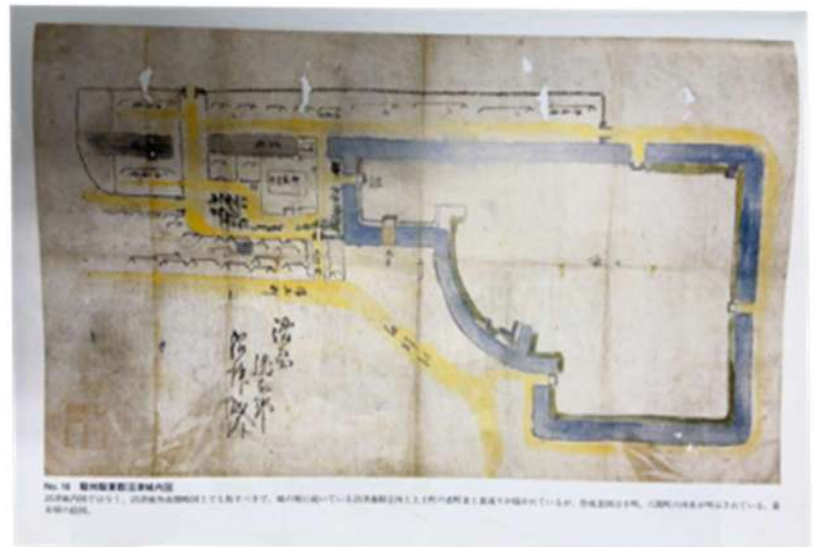


校歌	作詞 市川ふじえ
作曲 三井常三郎	
二	一
四季うるわしき千本の みどりかわらぬ松が枝を われらが操のしるしにと 共に進まん学びの道を	あしたに仰ぐ富士の嶺の 千古の雪の輝きを われらが智慧のしるしにと 共に進まん学びの道を



今むかし豆ちしき

～文学作品に登場する場所や建造物について～



沼津城本丸址(右上)・旧東海道川廓通り(左)・沼津城内図(右)*

*出典『沼津市史 別編 絵図集』沼津市/2004/P18

川廓（かわぐるわ）

『居眠り磐音江戸草紙 意次の妄』（佐伯泰英著）に登場する川廓という場所を紹介します。

田沼意次（1719～1788）は江戸時代中期の幕府の老中ですが、同じく老中となった人物に水野忠友（1731～1802）がいます。忠友は、駿河沼津藩初代藩主で沼津城の築城主です。

沼津城は三枚橋城の一部を利用して整えられた城で、狩野川を外堀とし、その内側に曲輪があったと考えられています。

川廓の「くるわ」は曲輪に由来します。

『意次の妄』では、船着き場所として登場します。